

岡本眸の春の句

夜々芽吹く誰の日記も明日は白
眼前を刻すぎゆけり牡丹雪
夜も出づる用あり水の温みそむ
春水に逆ひ歩み疲れたり
ふり返る月日一束木の芽雨

松岡隆子 抽